

会員会社紹介



新日鐵住金株式会社 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

1. 会社の創立と事業概要

新日鐵住金は、2012年10月に、新日本製鐵と住友金属工業の経営統合により誕生しました。製鐵事業を中心に、エンジニアリング事業、化学事業、新素材事業、システムソリューション事業の5つの事業を展開する事業持ち株会社です。基本理念では、「常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献」することを謳い、「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」を目指しています。

2. 会社概要

会社名 新日鐵住金株式会社
設立 2012年10月1日
本社 東京都千代田区丸の内2-6-1
代表者 代表取締役社長 進藤 孝生
資本金 4,195億円
売上高 31,608億円
(単独：2016年3月期)
従業員数 24,903名
(単独：2016年3月末現在)

新日鐵住金の製造拠点は、北海道から九州まで16カ所あり、それぞれの拠点で特徴ある製品が製造されています。室蘭製鐵所、釜石製鐵所、製鋼所、八幡製鐵所など100年以上の歴史を持つ拠点も多く、日本の近代化と経済発展、そしてモノ造りを支えてきました。

鉄道関連の鉄鋼材料としては、車両用のステンレス材や、地下壁面用鋼材等を供給しています。製品としては、八幡製鐵所(北九州市)

でレールを、製鋼所(大阪市)では、台車・輪軸・駆動装置・連結器等の車両部品を製造しております。

3. 鉄道関連事業

(1) 鉄道関連事業の始まり

新日鐵住金の鉄道関連事業は、日本の鉄道の発展と共に歩んでいます。1889(明治22)年に東京・神戸間605kmの東海道本線が全通して以降、全国に鉄道網が広がり、レール需要も急激に増加しました。その為1901(明治34)年に操業を開始した官営八幡製鐵所ではレール製造をスタートし、1930(昭和5)年には、それまで輸入に頼っていたレールの全量国産化を達成しました。



八幡製鐵所



製鋼所

時を同じくして1901年に住友鋳鋼場(現在の製鋼所)が創業され、翌年より鋳鋼車輪・車軸の製造を開始しています。1924(大正13)年には、大阪市電用ボギー台車(KS-45L)を製造し台車事業も始めています。

(2) 鉄鉱石から鋼材まで一貫製造

当社で製造するレール、車輪、車軸は、鉄鉱石から造られる高品質の鋼を材料としています。高炉、転炉、脱ガス、連続鋳造、圧延、加工と材料から製品までを一貫で製造する為、高い品質の安定性があります。その製品は清浄度・均質性が高く、耐久性にも優れており、鉄道の日々の安全に貢献しています。レールは八幡製鉄所で一貫して造られます。車輪・車軸は和歌山製鉄所で素材であるビレットを製造し、製鋼所にて圧延、加工が施されます。



和歌山製鉄所

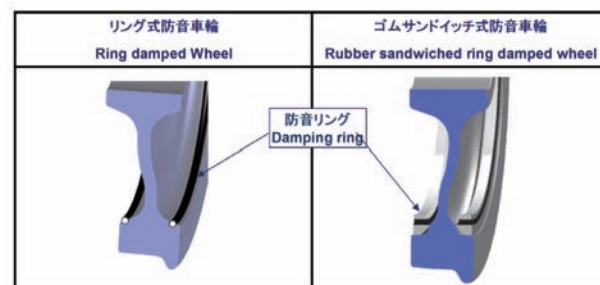


一体圧延車輪

(3) 車輪・駆動装置・台車開発

カーブが多い路線は、車輪に大きな負担をかけながら走行しています。結果として、車

輪の摩耗だけでなく、騒音の発生源にもなっています。当社では、カーブでのキーツという騒音の低減対策として、数種類の防音車輪を開発しています。



また、モーターの動力を輪軸へ伝える継手・駆動装置についても、小型軽量化や歯車の噛合い改善等により、低振動・低騒音を実現し、好評を得ています。

近年、量産投入されました操舵台車は、優れた曲線通過性能と、横圧、騒音、車輪フランジ摩耗、レール振動、曲線通過抵抗等に高い改善効果を有しており、東京メトロ銀座線1000系や仙台市交通局東西線2000系でご利用頂いております。



東京メトロ：銀座線 1000 系用操舵台車



仙台市交通局：東西線 2000 系用操舵台車

これからも新日鐵住金は、技術開発を進め、鉄道車両の安全と快適性・環境性の向上に努めてまいります。

【新日鐵住金株式会社

交通産機品営業部 鉄道車両品室 麻生 弘藏】